

令和8年度

# やまぐち就農支援塾 研修実施計画

令和8年(2026年)4月

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部  
社会人研修室 農業研修グループ

# 令和 8 年度 やまぐち就農支援塾 研修実施計画

## 目 次

I	活動方針	1
II	令和 8 年度やまぐち就農支援塾研修計画の概要	3
III	令和 8 年度やまぐち就農支援塾年間計画表	6
IV	研修内容及びカリキュラム	
	短期入門研修	8
	作目基礎研修	11
	担い手養成研修	24
	就農前集合研修	30
	経営スキルアップ研修	32
	課題解決研修	
	・パイプハウス建設実践技術研修	34
	・女性のための農業機械操作・メンテナンス研修	35
	資格取得研修	36
V	令和 7 年度やまぐち就農支援塾研修実績総括表	38

# I 活動方針

## 1 基本的な考え方

「やまぐち農林水産業振興計画」を着実に推進するため、農林業の多様な人材や中核経営体の育成に向け、募集から研修、就業、定着までの一貫した支援体制により、新規就業者の安定確保とともに、意欲ある担い手の経営基盤強化に向けた支援など、人材育成の取組の充実・強化を図る。

そのため、「農林業の知と技の拠点」（以下、拠点）形成を契機に、関係機関・団体との連携を一層強化し、社会人研修の再編・強化を行うとともに、現場への支援と情報共有を図り、人材の確保・育成・定着を促進する。

## 2 重点推進事項

### ◇ 関係機関・団体と連携した新たな担い手の確保・育成・定着支援

新規就業希望者の就業促進を図るため、ニーズに応じた社会人研修や農業法人等とのマッチング等就業支援に関する取組を実施するとともに、農林（水産）事務所農業部が市町等の関係機関と連携して行う受入に係る調整や定着に向けた取組を支援する。

「新規就農者の確保・育成に向けた取組」としては、これまでの首都圏等からの移住就業者の獲得に加え、今後は、農業農村に求められる人材を確保するため、各農業部や関係機関・団体との連携を一層強め、集落営農法人や主要な産地等各地域の人材確保を積極的に進める。

また、「新規就農者等の定着に向けた取組」としては、就農者等の多様なニーズに対応するため、研修メニュー選択への柔軟な対応や、拠点設置によるリカレント教育の充実に向けた取組も進める。

## 3 具体的な取組等

### （1）新規就農・就業希望者の確保・育成を支援する取組

- 首都圏等からの移住就業者の獲得  
首都圏で開催される「就農相談会」や「新・農業人フェア」等の就農相談イベントや県内産地見学等へ積極的に参加し就農希望者の確保を行う。
- 県内各地域の人材確保の取組  
各農業部、市町、（公財）やまぐち農林振興公社等と連携し、県内農業者との情報交換等による人材確保、短期入門研修の農業体験や、作目基礎研修での基礎的な知識と技術の習得等、きめ細かな相談等を通じて着実な就農・就業に向けた取組を進める。

- 担い手養成研修等の研修内容等の充実化  
技術レベルに応じた農作業の実践研修に加え、受講者の要望に応じて、病虫害防除や土壌肥料、農作業安全対策、営農計画作成などの研修カリキュラムの調整、先進農業者への派遣等、研修内容の充実を図る。  
また、法人就業コースの受講対象について、企業の農業部門担当者や障害福祉サービス事業所の農業部門管理者等に拡充する。

## (2) 新規就農・就業者等の定着を支援する取組

- 経営スキルアップ研修の実施  
新規就業者の早期定着、経営マインドに優れた次世代を担う農業経営者の育成を図るため、経営戦略や広報戦略などニーズに応じた選択制の研修を行う。
- 課題解決研修の充実・強化  
就業後に必要となる知識・技術の「学びなおし」が可能となるよう、パイプハウス建設実践技術研修、女性農業者向け農業機械操作・メンテナンス研修など、地域のニーズに応じた研修を行う。

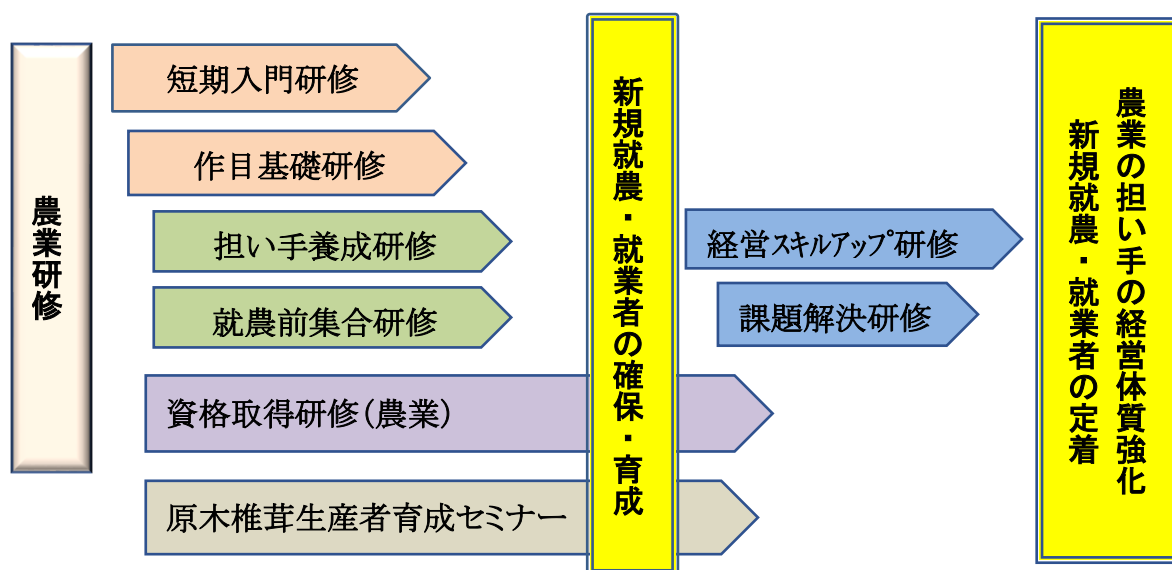
## (3) 資格取得及び農業機械等の操作技能の向上を支援する取組

新規就農者や法人オペレーター等を対象に、農業経営に必要な免許・資格取得や農業機械等の操作技能の向上を図る。

## (4) 農林連携の研修カリキュラムの導入

中山間地域等では林業との関わりが深いという実情を踏まえ、特用林産物（しいたけ）の栽培について、森林企画課と連携したセミナー開催等の取組を進める。

## 4 研修体系



## II 令和8年度やまぐち就農支援塾研修計画の概要

令和8年4月1日現在 農林業担い手支援部社会人研修規程第6条関係

区分	研修名称	研修概要(対象、内容)	
I 就農支援 (新規就業者・ 就農者の確保・ 育成)	短期入門研修	就農や農業法人への就業に興味のある方を対象とした平日3日間の研修で、農作業体験等の農業お試し研修	
	作目基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農や農業法人への就業を目指す方を対象とした週末の日曜日を主体に利用した実践研修</li> <li>6コース(イチゴ・アスパラガス専門、水稲専門、露地野菜、果樹、花き、畜産)</li> <li>専門コースは4～2月、延べ22～48日開催、別途現地研修等実施</li> <li>その他コースは4～12月、月1～2回、延べ10～11回</li> <li>定員:各コース15人、合計:90人</li> </ul>	
	担い手養成研修	就農や農業法人への就業を目指す方および農外企業や福祉施設等の農業部門管理者等を対象 農業大学校で一年間のフルタイム実践研修を実施	
	就農前集合研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手養成研修生(農林総合技術センター・現地)の就農・定着を支援するため、農業経営に必要な知識の習得を支援 農林総合技術センターの担い手養成研修受講者(義務) 就農準備資金交付対象者(義務) 定着促進事業における研修生支援交付対象者(義務)</li> <li>2年以内に就農・就業が見込まれ、就農予定市町が推薦する者</li> <li>作目基礎研修(専門コース)の受講希望者</li> <li>4月～1月まで、5回実施予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>①営農計画の概要と作成演習</li> <li>②トラクタの構造・機能、耕耘方法等</li> <li>③営農計画の発表及び意見交換会</li> </ul> </li> </ul>	
II 技術向上 (新規就業者・ 就農者の定着)	経営スキルアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>義務受講者(※)およびその他の受講希望者</li> <li>※以下の制度の対象者を指す 経営開始資金 農業次世代人材投資資金(経営開始型) 法人就業者定着支援給付金 経営発展支援事業</li> <li>新規就業者・就農者が今後の経営発展や意欲醸成に必要な知識等の習得を支援</li> <li>労務管理、生産マネジメント等の研修を全10回程度実施</li> <li>6月～1月(予定)までの期間中、受講講座を選択制として開催</li> </ul>	
	課題解決研修	パイプハウス建設実践技術研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員10名</li> <li>パイプハウスの自家施工・修理、中古部材の活用に向けて、基本的な建設方法の流れ、強度保持等のノウハウを習得</li> </ul>
		女性のための農業機械操作・メンテナンス研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性農業者・法人女性オペレーター等を対象、定員5名</li> <li>刈払機、乗用トラクター、管理機等の取扱を習得</li> </ul>
III 資格取得	資格取得研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営に必要な各種資格取得を支援</li> <li>大特、けん引、玉掛け、小型移動式クレーン、フォークリフト、小型車両建設機械、アーク溶接、伐木作業、刈払機取扱作業等、等</li> </ul>	
IV 農林連携研修	原木椎茸生産者育成セミナー	椎茸農協主催研修への研修生や農業者の参加誘導を支援 原木椎茸栽培の基礎知識の習得や先進地の学習、ほだ場の見学や駒うち体験等を通じて、原木椎茸の生産拡大及び生産者を育成	

## 令和8年度やまぐち就農支援塾研修計画における受講者数と対象

研修項目	研修内容	回数	1回の 日数	1回 の定員・ 人数	受講者数 (延べ)	対 象						
						農業未 経験者	販 売希 望者	準 備資 金等 対象	開 始資 金対 象	農 業一 般	県・ 市職 員	
I 就農支援	短期入門研修		回	日	人	人						
			4	3	10	40	○	○	—	—	○	—
	作 目 基 礎 研 修	イチゴ・アスパラガス専門	48	1	8	384	○	○	—	—	○	—
		水稻専門	22	1	15	330	○	○	—	—	○	—
		露地野菜	11	1	18	198	○	○	—	—	○	—
		果樹	10	1	15	150	○	○	—	—	○	—
		花き	10	1	11	110	○	○	—	—	○	—
		畜産	11	1	3	33	○	○	—	—	○	—
	担い手養成研修 (自営就農コース、法人就業コース)		250	1	17	4,250	—	○	○	—	—	—
就農前集合研修		5	1	24	120	—	○	○	—	—	—	
計		371	—	—	5,615							
II 技術向上	経 営 ス キ ル ア ッ プ 研 修	第1回 農業労務管理【社会保障編】	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○
		第2回 農業労務管理(税務編)	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○
		第3回 農業簿記研修【実践編①】	1	1	30	30	—	—	△	○	○	○
		第4回 農業簿記研修【基礎知識編】	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○
		第5回 会社の作り方	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○
		第6回 鳥獣害対策講座	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○
		第7回 トヨタ生産方式	1	1	40	40	—	—	△	○	○	○
		第8回 事業にぴったりのSNSを見つけよう	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○
		第9回 農業簿記研修【実践編②】	1	1	30	30	—	—	△	○	○	○
		第10回 「働きやすさ」をつくる就業環境改善	1	1	50	50	—	—	△	○	○	○

研修項目	研修内容	回数	1回の日数	1回の定員・人数	受講者数(延べ)	対象						
						農業未経験者	販売希望者	準備資金等対象	開始資金対象	農業一般	県・市職員	
II 技術向上	課題解決研修	1	4	10	10	—	—	—	—	○	△	
	女性のための農業機械操作・メンテナンス研修	1	2	5	5	—	—	—	—	○	—	
計		12	—	—	465							
III 資格取得	資格取得研修	大型特殊自動車免許(農耕車限定)取得研修(5日コース)	5	5	20	100	—	—	—	—	○	—
	大型特殊自動車免許(農耕車)取得研修(農大トラクタ持込交通C試験:3日コース)	10	3	4	40	—	—	—	—	○	—	
	けん引免許(農耕車限定)取得研修	2	6	12	24	—	—	—	—	○	—	
	玉掛け技能講習	1	3	10	10	—	—	—	—	○	—	
	小型移動式クレーン運転技能講習	1	3	10	10	—	—	—	—	○	—	
	フォークリフト運転技能講習(大特免許取得者対象)	2	3	10	20	—	—	—	—	○	—	
	フォークリフト運転技能講習(普通自動車免許取得者対象)	1	3	10	10	—	—	—	—	○	—	
	小型車両系建設機械運転特別教育	2	2	15	30	—	—	—	—	○	—	
	アーク溶接特別教育	1	3	15	15	—	—	—	—	○	—	
	伐木作業(チェーンソー)取扱特別教育	1	3	15	15	—	—	—	—	○	—	
刈払機取扱作業安全衛生教育	2	1	15	30	—	—	—	—	○	—		
計		28	—	—	304							
合計		411	—	—	6,384							

Ⅲ 令和8年度やまぐち就農支援塾年間計画表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
4							始業式			日本一会議		作目基礎		入学式		
5										作目基礎			就農前集合②	就農前集合③		作目基礎水稲
6				スキルアップ研修①			作目基礎						作目基礎イコ	作目基礎		
					大特			大特出張①								
7	スキルアップ研修②				作目基礎			日本一会議				夏のOC			作目基礎イコ	スキルアップ研修③
	小型車両系建設機械運転特別教育①	けん引					短期入門研修②		刈払機取扱作業安全衛生教育①	作目基礎イコ			フォークリフト運転技能講習(大特免許所有者)①			
8		作目基礎					スキルアップ研修④	作目基礎イコ	やまぐち就農支援塾募集説明会①(新規就農ガイダンス)							
				大特交通C②												
9												作目基礎イコ				短期入門③
																作目基礎イコ
10	終業式・始業式		やまぐち就農支援塾募集説明会②	作目基礎水稲			推薦入試			作目基礎イコ						スキルアップ研修⑥
	大特交通C③					日本一会議	大特交通C④									
11			拠点祭				秋のOC	作目基礎						作目基礎イコ	作目基礎	
						大特			大特出張③			小型車両系建設機械運転特別教育②				
12		一般入試一次				作目基礎						作目基礎イコ				作目基礎イコ
								短期入門研修④								
		大特出張④					大特交通C⑧		大特				大特出張⑤			
1									作目基礎イコ				作目基礎イコ水稲	就農前集合⑤		
					大特交通C⑩									大特けん引予備		
2			一般入試二次	日本一会議									作目基礎イコ			担い手養成研修面接
		パイプハウス建設実践技術研修								けん引		けん引		けん引②		
3													卒業式(仮)		担い手養成研修開講式(仮)	
	玉掛け技能講習															小型クレーン

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		4	
					円滑化 会議				作目 基礎		就農前 集合①					
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	5	
			作目基 礎イゴ			作目基 礎イゴ			短期入門研修①							
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		6	
作目基 礎イゴ										作目基 礎イゴ			小型車両 系建設機 械運転特 別教育①			
		大特			大特出張②											
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	7	
					円滑化 会議			作目基 礎イゴ	作目 基礎	就農前 集合④						
											大特交通C①					
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8	
		作目基 礎イゴ			作目基 礎イゴ	作目基 礎水稲				スキルア ップ研修 ⑤			作目 基礎			
									フォークリフト運転技能講習(普通免 許所有者)							
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		9	
短期③		作目基 礎水稲	作目 基礎						作目基 礎イゴ	作目 基礎						
									(作目基 礎水稲)			大特交通C③				
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	10	
	作目 基礎			作目基 礎イゴ			作目基 礎イゴ									
				円滑化 会議												
			大特交通C⑤													
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		11	
	作目基 礎イゴ			作目基 礎水稲				スキルア ップ研修 ⑦	担い手 養成研 修面接		作目基 礎イゴ	作目 基礎				
	大特交通C⑥						大特交通C⑦			大特				大特		
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	12	
スキルア ップ研修 ⑧、⑨			やまぐち 就農支 援塾募 集説明 会③						作目基 礎イゴ							
					大特交通C⑨											
大特				アーク溶接特別教育												
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	
				スキルア ップ研修 ⑩		作目基 礎イゴ										
										刈払機取 扱作業 者安全 衛生教 育②						
	大特けん引予備															
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				2	
円滑化 会議									女性のた めの農 業機 械操 作・メ ンテ ナ ンス 研修	作目基 礎イゴ						
作目基 礎イゴ																
	けん引②								フォークリフト運転技能講習(大特免許所有者)②							
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	3	
		入学事 前説 明会					春の OC									
小型移動式クレーン															担い手 養成研 修閉講 式	

## IV 研修内容及びカリキュラム

### 令和8年度 短期入門研修

#### 1 目的

就農に向けた流れ・支援政策等の概要説明、農業実習体験及び担い手養成研修生との意見交換等を通じて、新規就農や法人就業を目指すきっかけづくりとすることを目的に実施する。

#### 2 研修対象者

将来、県内での自営就農や農業法人への就業に興味・意欲のある方  
(退職予定自衛官含む)

#### 3 募集定員

各回10名程度

#### 4 カリキュラム

##### (1) 実施期間

第1回：令和8年5月26日(火)～5月28日(木)

第2回：令和8年7月7日(火)～7月9日(木)

第3回：令和8年9月15日(火)～9月17日(木)

第4回：令和8年12月8日(火)～12月10日(木)

##### (2) 研修場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部 防府市牟礼10318番地

##### (3) 研修メニュー

実施日	時間	内容
1日目 (火)	10:00～12:00	・開講式・オリエンテーション ・やまぐち農林振興公社の概要及び就農・就業事例 ・就農に係る流れと支援制度(農業・畜産) ・やまぐち就農支援塾の概要
	13:00～16:00	・農作業体験Ⅰ【野菜】
2日目 (水)	9:00～12:00	・農作業体験Ⅱ【果樹】
	13:00～16:00	・農作業体験Ⅲ【酪農又は肉用牛を選択】
3日目 (木)	9:00～12:00	・農作業体験Ⅳ【土地利用作物又は花きを選択】
	13:00～14:30	・担い手養成研修生との意見交換
	14:30～	・個別相談(希望者のみ:1人15分程度)

(注) 実施期間や研修内容等は変更する場合があります。

## 5 募集期間

第1回：令和8年4月10日(金)～令和8年5月8日(金)

第2回：令和8年5月11日(月)～令和8年6月16日(火)

第3回：令和8年7月16日(木)～令和8年8月25日(火)

第4回：令和8年10月8日(木)～令和8年11月17日(火)

## 6 受講経費等

施設使用料 600 円(食事・宿泊無しで3日間受講の場合：1日当たり 200 円)を受付時にお支払いいただきます。また、傷害保険に加入されていない方は、別途、傷害保険料(1,000 円程度)の支払いが必要です。

## 7 研修申込

### (1) 申込書の入手・作成

①農業大学校ホームページから申込書様式をダウンロードしてください。

<https://www.yamaguchi-noudai.jp>

②または、農林業担い手支援部 社会人研修室(〒747-0004 防府市大字牟礼10318番地)までお越しいただき、御請求ください。

### (2) 申込方法

申込書を社会人研修室に提出してください。(メール、FAX、郵送又は持参)  
なお、メール・FAXの場合は、担当者まで電話で着信確認をお願いします。

## 8 受講決定の通知

受講の決定は、受講開始日の概ね7日前までに郵送等により通知します。ただし、応募者が多数の場合は先着順とします。

## 9 その他

希望者は本校の定める条件に該当すれば、施設内での食事・宿泊が可能です。

希望される場合は、研修申込書と併せて、食事・宿泊申込書及び承諾書(宿泊希望者のみ)に必要な事項を記入の上、ご提出ください。食事・宿泊に伴う食事代、施設利用料及びクリーニング代を受付時に合わせてお支払いいただきます。

※ただし、当校の突発的な事情で宿泊できない場合もあることをご了承ください。

## 10 問い合わせ先及び申込先

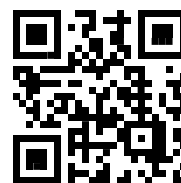
〒747-0004 防府市大字牟礼10318番地

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部

社会人研修室 農業研修グループ 担当：林・重藤

TEL (0835)38-0510 FAX (0835)23-0843

E-mail:shakaijin-kenshu@pref.yamaguchi.lg.jp



# 新規就農・就業を希望される方へ

令和8  
年度

## やまぐち就農支援塾「短期入門研修」のご案内

### 1 目的

新たに県内で農業を始めようとする方（就農）や農業法人への就業に興味のある方（退職予定自衛官含む）を対象に、農作業実習体験や意見交換等を通じて、具体的に農業を目指すきっかけづくりとして頂くための研修です。

### 2 実施期間

第1回：令和8年5月26日(火)～5月28日(木)  
第2回：令和8年7月7日(火)～7月9日(木)  
第3回：令和8年9月15日(火)～9月17日(木)  
第4回：令和8年12月8日(火)～12月10日(木)

### 3 研修場所

山口県農林総合技術センター 農林業担い手支援部  
(山口県防府市牟礼10318番地)

※1：開講の概ね1ヶ月以上前に募集開始しますので、日程等については農業  
大学校ホームページで確認していただくか、直接お問い合わせください。  
※2：日程は気象条件等により、変更する可能性があります。

<https://www.yamaguchi-noudai.jp>

### 4 研修内容

就農に関する流れと各種支援制度の概要説明、  
各作目の農作業体験、社会人研修生との意見交換、就農相談等



### 5 定員

各回10名程度

### 6 受講経費

施設利用料600円（食事・宿泊無しの場合、200円/日）  
傷害保険料1,000円程度（保険加入されていない場合）

相談  
・  
問合せ

山口県農林総合技術センター 農林業担い手支援部  
社会人研修室 農業研修グループ 担当：林・重藤  
TEL：0835-38-0510 FAX：0835-23-0843  
〒747-0004 防府市大字牟礼10318番地



## 令和 8 年度 作目基礎研修

### 1 目的

各作目の講義や作業実習を通じて、農業の基礎的な知識や技術を習得し、将来的に県内での新規就農や法人就業を目指す受講者を募集します。

### 2 研修内容

#### (1) 期間

令和 8 年 4 月 12 日（日）から令和 8 年 12 月 6 日（日）まで  
（原則、日曜日の午前 10 時から午後 4 時まで実施）

※各専門コースについては、閉講式（12 月 6 日）後も現地研修等を実施予定

#### (2) 場所

山口県農林総合技術センター 農林業担い手支援部（防府市牟礼 10318 番地）  
※各専門コースについては、現地研修も実施予定

#### (3) コース内容及び定員等

コース	内容（講義・実習）		受講料 （税込）	研修 回数	定員 目安
	コース別	コース 共通			
イチゴ・ アスパラガス 専門（旧： 施設野菜）	【必須】イチゴおよびアスパラガスの栽培管理方法・技術習得 【選択】イチゴ現地実習、営農計画作成演習、パイプハウス建設実習	病虫害 防除の 基礎  (1回)  土づく りの基 礎  (1回)	21,000円	【必須】 20回 【選択】 28回	15人
水稻専門 （旧：水稻・ 農業機械）	【必須】水稻の栽培管理方法、農業機械使用方法 【選択】大規模法人現地実習、営農計画作成演習			15,000円	
露地野菜	露地野菜栽培の基礎知識・技術の習得（スイカ、カボチャ、サツマイモ、キャベツ、はなっこりー等）		13,000円	11回	15人
果 樹	果樹栽培の基礎知識・技術の習得（ナシ、ブドウ、カンキツ等）	流通・ 販売等 (1回)	11,000円	10回	15人
花 き	花き栽培等の基礎知識・技術の習得（キク、シクラメン等）		10,000円	10回	15人
畜 産	牛の飼養管理の基礎知識・技術の習得 (肉用牛・乳用牛の飼養管理と実際見学)		9,000円	11回	15人

(注 1) 研修内容や研修回数は変更になる場合があります。各コースの重複受講はできません。

(注 2) 本研修では、慣行栽培を基本に基礎技術を学んでいただきます。

### 3 応募資格等

- ・将来的に県内での新規就農や法人就業を目指しており、農産物の共同販売等により農業で生計を立てる意志のある方（退職予定自衛官含む）
- ・年間を通じて継続的に研修受講できる方

### 4 参加費等

施設使用料及び資料代等として、次のとおり受講料を納入していただきます。また、傷害保険に加入されていない方は、別途保険料の支払いが必要です。

コース名	受講料（税込）	傷害保険料（税込）
イチゴ・アスパラガス専門	21,000円	2,800円程度
水稻専門	15,000円	2,000円程度
露地野菜	13,000円	1,200円程度
果樹	11,000円	1,200円程度
花き	10,000円	1,200円程度
畜産	9,000円	1,200円程度

（注）納入方法等については、受講決定通知時に連絡します（納入後は原則返金しません）。



農作業実習の様子（露地野菜コース）



農作業実習の様子（果樹コース）

# 今後農業を本格的に取り組みたいとお考えの方へ

## やまぐち就農支援塾 「令和8年度作目基礎研修」のご案内

### 1 目的

「今後農業を職業として取り組みたい」と考えている方等を対象とし、日曜日を中心に約8か月～1年間、作目や品目ごとの基礎知識・技術を学んでいただきます。



### 2 研修内容

場所：山口県農林総合技術センター

内容：各作目及び農業機械に関する基礎知識・技術の習得 【講義・実習】

コース名	研修内容
イチゴ・アスパラガス専門	イチゴ・アスパラガス栽培の基礎知識・技術の習得
水稲専門	水稲栽培管理及び農業機械使用方法
露地野菜	露地野菜栽培の基礎知識・技術の習得（スイカ、カボチャ、キャベツ、はなっこりー等）
果樹	果樹栽培の基礎知識・技術の習得（ナシ、ブドウ、カンキツ等）
花き	花き栽培の基礎知識・技術の習得（キク、シクラメン等）
畜産	牛の飼養管理の基礎知識・技術の習得（肉用牛・乳用牛の飼養管理、飼養管理の実習見学）

※ 内容や回数は変更になる場合があります。上記の他にコース共通講義もあります。

※ 各コースの重複受講はできません。

※ 本研修では、慣行栽培を基本に基礎技術を学んでいただきます。

### 3 定員

各コース15名程度

### 4 開催時期

令和8年4月12日(日)～

原則、日曜日の午前10時から午後4時まで

### 5 経費

9,000～21,000円（コースにより異なります）

※納入後は原則返金しません。傷害保険に加入されていない方は、別途傷害保険料が必要です。

### 6 申込方法

期間：令和8年1月30日（金）～3月2日（月）

方法：申込書を社会人研修室まで提出

農業大学校ホームページから申込書をダウンロードできます。

<https://www.yamaguchi-noudai.jp>

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部（山口県立農業大学校）  
社会人研修室 担当：山本・重藤

TEL：0835-38-0510 FAX：0835-23-0843

〒747-0004 防府市大字牟礼10318番地

山口県立農業大学校

検索

## 令和8年度イチゴ・アスパラガス専門コース カリキュラム

開催月	実施日	曜日	時間	場所	内容	講師	必須		選択	
							日曜研修	平日研修	現地実習土曜	その他平日
4月	4/12	日	10:00～16:00	農技C	・開講式、イチゴ・アスパラ栽培概要、ほ場見学(立茎説明)	刀禰	1日			
	4/26	日	9:00～12:00	農技C	・病害虫防除の基礎、農薬の使用方法(第1回共通講義)	農技C職員	1日			
			13:00～16:00		・土づくりの基礎(第2回共通講義)	農技C職員				
4/28	火	10:00～16:00	農技C	就農前集合研修①		農技C職員			1日	
5月	5/10	日	10:00～16:00	農技C	・イチゴ育苗計画の作成、雨よけ苗床の準備、品種について ・アスパラガス管理、病害虫対策	刀禰	1日			
	5/13	水	10:00～16:00	農技C	就農前集合研修②		農技C職員			1日
	5/14	木	10:00～16:00	農技C	就農前集合研修③		農技C職員			1日
	5/20	水	10:00～16:00	農技C	・アスパラガス収穫・防除、イチゴ育苗管理	農技C職員・研修生		1日		
	5/23	土	9:00～15:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習		法人			1日
6月	6/7	日	10:00～16:00	農技C	・イチゴ育苗管理(採苗、施肥、灌水)、病害虫対策 ・アスパラガス摘心、土壌分析、病害虫確認等	刀禰	1日			
	6/13	土	9:00～16:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習		法人			1日
	6/17	水	10:00～16:00	農技C	・イチゴ育苗管理 ・アスパラガス前作撤去作業・整枝・防除	農技C職員・研修生		1日		
	6/27	土	9:00～16:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習		法人			1日
7月	7/5	日	10:00～16:00	農技C	・イチゴ・アスパラガス病害虫対策 ・イチゴ太陽熱消毒方法、鉢受 ・アスパラガス管理、播種、施肥設計	刀禰	1日			

開催月	実施日	曜日	時間	場所	内容	講師	必須		選択	
							日曜研修	平日研修	現地実習土曜	その他平日
7月	7/11	土	9:00～12:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	7/15	水	10:00～16:00	農技C	・イチゴ育苗管理(鉢受作業) ・アスパラガスほ場準備(施肥畝たて)、アスパラガス陽熱プラス	農技C職員・研修生		1日		
	7/25	土	9:00～12:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	7/27	月	10:00～16:00	農技C	就農前集合研修④	農技C職員				1日
8月	8/8	土	9:00～12:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	8/19	水	10:00～16:00	農技C	・アスパラガス現地視察(予定) 又はイチゴ苗切り離し施肥	農技C職員・研修生		1日		
	8/22	土	9:00～12:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	8/30	日	10:00～16:00	農技C	・イチゴ花芽分化の生理、ほ場準備(施肥、畝たて、マルチ) ・アスパラガス夏の管理	刀禰	1日			
9月	9/12	土	9:00～16:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	9/16	水	10:00～16:00	農技C	・アスパラガス収穫・管理、イチゴ定植準備等	農技C職員・研修生		1日		
	9/26	土	9:00～16:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	9/27	日	10:00～16:00	農技C	・イチゴ定植、高設栽培と土耕栽培の違い等など ・アスパラガス秋の管理	刀禰	1日			
10月	10/10	土	9:00～16:00	株ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	

開催月	実施日	曜日	時間	場所	内容	講師	必須		選択	
							日曜研修	平日研修	現地実習土曜	その他平日
10月	10/18	日	10:00～ 16:00	農技 C	・イチゴ定植後の株管理、訪花 昆虫の扱い、保温管理 ・アスパラガスほ場準備、定植	刀禰	1日			
	10/21	水	10:00～ 16:00	農技 C	・アスパラガス、イチゴ管理	農技C 職員・ 研修生		1日		
	10/24	土	9:00～ 16:00	株ベ リー ろー ど	・イチゴ現地実習	法人			1日	
11月	11/8	日	10:00～ 16:00	農技 C	・本ほ病害虫、生理障害、収穫 調製方法、環境制御(炭酸ガス 施用、温度、電照、灌水)、優良 苗について ・アスパラガス支柱・ネット設置	刀禰	1日			
	11/14	土	9:00～ 16:00	株ベ リー ろー ど	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	11/18	水	10:00～ 16:00	農技 C	・イチゴ収穫、管理	農技C 職員・ 研修生		1日		
	11/28	土	9:00～ 16:00	株ベ リー ろー ど	・イチゴ現地実習	法人			1日	
12月	12/6	日	11:00～ 13:00	農技 C	・農産物の流通・販売等 ・閉講式	JA山 口県 職員、 刀禰	1日			
	12/12	土	9:00～ 16:00	株ベ リー ろー ど	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	12/16	水	10:00～ 16:00	農技 C	・イチゴ収穫・管理 ・アスパラガス天井張り替え	農技C 職員・ 研修生		1日		
	12/26	土	9:00～ 16:00	株ベ リー ろー ど	・イチゴ現地実習	法人			1日	

開催月	実施日	曜日	時間	場所	内容	講師	必須		選択	
							日曜研修	平日研修	現地実習土曜	その他平日
1月	1/9	土	9:00～16:00	㈱ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	1/13	水	10:00～16:00	農技C	・イチゴ収穫・管理 ・アスパラガス撤去・焼却	農技C職員・研修生		1日		
	1/14	木	9:00～17:00	農技C	就農前集合研修⑤	農技C職員				1日
	1/23	土	9:00～16:00	㈱ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
2月	2/2	火	9:30～16:00	農技C	パイプハウス建設実践技術研修	農技C職員				1日
	2/3	水	9:30～16:00	農技C	パイプハウス建設実践技術研修	農技C職員				1日
	2/4	木	9:30～16:00	農技C	パイプハウス建設実践技術研修	農技C職員				1日
	2/5	金	9:30～16:00	農技C	パイプハウス建設実践技術研修	農技C職員				1日
	2/13	土	9:00～16:00	㈱ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	
	2/17	水	10:00～16:00	農技C	・イチゴ収穫・管理 ・アスパラガス保温 ・希望者面談	農技C職員・研修生		1日		
	2/27	土	9:00～16:00	㈱ベリーロード	・イチゴ現地実習	法人			1日	

※研修カリキュラム・時間・場所は、変更となる場合があります。

## 令和8年度水稲専門コース カリキュラム

月	実施日	曜日	時間	場所	内容	講師	必須	選択		
							日曜研修	現地1 (阿東) 土曜	現地2 (大道) 平日	その他 平日
4月	4/12	日	10:00～ 16:00	農技C	・開講式、水稲栽培管理の概要、ポイント	中野(邦)	1日			
	未定	未定		法人	・現地実習①(大道、播種準備)	法人			1日	
	4/26	日	9:00～ 12:00	農技C	・病虫害防除の基礎(第1回共通講義)	農技C職員	1日			
			13:00～ 16:00		・土づくりの基礎(第2回共通講義)	農技C職員				
	4/28	火	10:00～ 16:00	農技C	就農前集合研修①	農技C職員				1日
5月	5/10	日	10:00～ 16:00	農技C	・水稲の育苗について、播種作業(手蒔き、育苗器使用)	中野(邦)	1日			
	5/13	水	10:00～ 16:00	農技C	就農前集合研修②	農技C職員				1日
	5/14	木	10:00～ 16:00	農技C	就農前集合研修③	農技C職員				1日
	5/16	土	10:00～ 15:00	法人	・現地実習②(阿東田植え)	法人		1日		
6月	未定	未定		法人	・現地実習③(大道田植え補助)	法人			1日	
	6/14	日	10:00～ 16:00	農技C	・水田の初期管理(施肥、除草、水管理)、田植え作業(田植機の操作)	中野(邦)	1日			
7月	7/5	日	10:00～ 16:00	農技C	・農業機械の概要、工具について	片山	1日			
	7/26	日	10:00～ 16:00	農技C	・生育中期の生育診断・管理、幼穂形成期の確認	中野(邦)	1日			
	7/27	月	10:00～ 16:00	農技C	就農前集合研修④	農技C職員				1日
8月	8/23	日	10:00～ 16:00	農技C	・刈払機の構造と安全な使い方、畦畔管理用機械(モア等)の取扱い	片山	1日			
9月	2026/9/19 または 26	土	10:00～ 15:00	法人	・現地実習④(阿東、コンバイン操作実習等)	法人		1日		

月	実施日	曜日	時間	場所	内容	講師	必須	選択		
							日曜 研修	現地 1 (阿東) 土曜	現地 2 (大道) 平日	その 他 平日
10月	10/4	日	10:00～ 16:00	農技C	・収穫、乾燥調製について、玄米品質、食味について、稲刈りの方法について(コンバインの操作実習)	中野(邦)	1日			
	10/18	日	10:00～ 16:00	農技C	・トラクタの構造と安全な使い方、メンテナンス(オイル交換、爪交換等)、耕耘方法	片山	1日			
	未定	未定		法人	・現地実習⑤(大道草刈り、稲刈りまたは乾燥調製)	法人			1日	
11月	11/15	日	10:00～ 16:00	農技C	・田植機のメンテナンス、保管時の注意事項 ・コンバインのメンテナンス、保管時の注意事項	片山	1日			
	2026/ 11/7 または 21	土	10:00～ 15:00	法人	・現地実習⑥(阿東、トラクタ操作実習等)	法人		1日		
12月	12/6	日	10:00～ 13:00	農技C	・今年度の生育状況、来年度の栽培計画について ・農産物の流通・販売等 ・閉講式	中野(邦) JA山口県職員	1日			
1月	1/14	木	9:00～ 17:00	農技C	就農前集合研修⑤	農技C職員				1日

※研修カリキュラム・時間・場所は、変更となる場合があります。

## 令和8年度露地野菜コース カリキュラム

日付	内 容	講師	
<b>開 講 式(10:00~10:30)</b>			
4/12 (日)	・野菜の話 ・夏野菜の作り方(果菜類)	【講義】	片川
	・カボチャの鉢上げ ・果菜類の播種(カボチャ、スイートコーン) ・畝立・マルチ張り	【実習】	
4/26 (日)	・病虫害防除の基礎(9:00~12:00)	【共通講義①】	農技センター職員
	・土づくりの基礎(13:00~16:00)	【共通講義②】	農技センター職員
5/10 (日)	・果菜類の育苗・定植	【講義】	片川
	・畝づくり(マルチ被覆) ・定植(スイカ、カボチャ、スイートコーン、サツマイモ) ・灌水、ホットキャップなど被覆	【実習】	
6/14 (日)	・果菜類の管理(整枝・人工授粉等)	【講義】	片川
	・果菜類の整枝・追肥	【実習】	
7/26 (日)	・秋冬野菜の作り方(播種、育苗) ・夏野菜の作り方(果菜類)	【講義】	片川
	・秋冬野菜の播種 (キャベツ、ブロッコリー、はなっこりー) ・夏野菜の収穫(カボチャ、スイートコーン、スイカ)	【実習】	
8/30 (日)	・秋冬野菜の管理 ・施肥、畝づくり、太陽熱消毒	【講義】	片川
	・ハクサイ、ダイコンの播種 ・キャベツ、ブロッコリー、はなっこりーの定植	【実習】	
9/20 (日)	・秋冬野菜の管理	【講義】	片川
	・タマネギの播種、ハクサイの定植、ダイコンの間引き、 はなっこりーの摘芯	【実習】	
9/27 (日)	・秋冬野菜の管理(間引き、追肥、土寄せ、除草)	【講義】	片川
	・リーフレタスの播種、はなっこりーの摘芯・収穫	【実習】	
10/18 (日)	・秋冬野菜の管理(間引き、追肥、土寄せ、除草)	【講義】	片川
	・リーフレタスの定植、はなっこりー・サツマイモの収穫	【実習】	
11/15 (日)	・野菜の冬季管理・出荷に当たって	【講義】	片川
	・収穫(ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、はなっこりー、 リーフレタス、ダイコン)	【実習】	
12/6 (日)	【講義または資料配布(10:00~11:00)】	【講義】	片川
	・農産物の流通・販売等(11:00~12:00)	【共通講義③】	
<b>閉 講 式(12:00~13:00)</b>			

・研修時間: 午前10時~午後4時

・研修場所: 農業大学校ほ場

※研修カリキュラム・時間・場所は、変更となる場合があります。

## 令和8年度果樹コース カリキュラム

日付	内 容	講 師
4/12 (日)	開 講 式(10:00～10:30)	
	・常緑果樹の整枝せん定(かんきつ)	【講義・実習】 山根
4/26 (日)	・病虫害防除の基礎(9:00～12:00)	【共通講義①】 農技センター職員
	・土づくりの基礎(13:00～16:00)	【共通講義②】 農技センター職員
5/10 (日)	・果樹栽培の基礎と果樹経営 ・主要果樹5月の基本管理	【講義・実習】 山根
6/14 (日)	・果樹の特徴と果実生産 ・主要果樹6月の基本管理	【講義・実習】 山根
7/5 (日)	・果樹の樹相診断、気象災害対策 ・主要果樹7月の基本管理	【講義・実習】 山根
8/30 (日)	・果実成熟と果実評価(ナシ・ブドウ等) ・主要果樹8月の基本管理	【講義・実習】 山根
10/18 (日)	・果樹の土壌管理と施肥 ・果樹園の開園と苗木管理 ・主要果樹10月の基本管理	【講義・実習】 山根
11/8 (日)	・落葉果樹の整枝せん定の基本Ⅰ ・果実の品質評価(かんきつ)	【講義・実習】 山根
11/29 (日)	・落葉果樹の整枝せん定の基本Ⅱ ・整枝せん定の実際(ウメ、クリなど)	【講義・実習】 山根
12/6 (日)	・農産物の流通・販売等(11:00～12:00)	【共通講義③】 JA山口県職員
	閉 講 式(12:00～13:00)	

- ・研修時間: 午前10時～午後4時
- ・研修場所: 農業大学校果樹園
- ※研修カリキュラム・時間・場所は、変更となる場合があります。

## 令和8年度花きコース カリキュラム

日付	内 容	講師	
<b>開 講 式(10:00～10:30)</b>			
4/12(日)	<b>【講義】</b> ・主要花きの特性(オリジナルユリ、オリジナルリンドウ) ・県内花きの栽培状況	【講義・実習】  田村	
	<b>【実習】</b> ・校内ほ場見学		
4/26(日)	・病虫害防除の基礎(9:00～12:00)	【共通講義①】	農技センター職員
	・土づくりの基礎(13:00～16:00)	【共通講義②】	農技センター職員
5/10(日)	<b>【講義】</b> ・キク栽培、シンテッポウユリ栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・キクの挿芽、8月キク、シンテッポウユリの管理		
6/14(日)	<b>【講義】</b> ・リンドウ栽培、ヒマワリ栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・リンドウ試験ほ場見学 ・ほ場準備(パイプハウス)耕耘、畦作り		
8/2(日)	<b>【講義】</b> ・苗物(パンジー、ハボタン)栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・8月キク、シンテッポウユリ(収穫、出荷調整)		
8/30(日)	<b>【講義】</b> ・アスター栽培、キンギョソウ栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・用土づくり ・パンジー鉢上げ		
9/27(日)	<b>【講義】</b> ・ストック栽培、カスミソウ栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・電照ギクの管理		
10/18(日)	<b>【講義】</b> ・ベゴニア栽培、シクラメン栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・ベゴニアの播 ・シクラメンの管理		
11/15(日)	<b>【講義】</b> ・ユリ(オリジナルユリ)栽培について	【講義・実習】	田村
	<b>【実習】</b> ・カーネーション、ダリアの管理		
12/6(日)	・農産物の流通・販売等(11:00～12:00)	【共通講義③】	JA山口県職員
	<b>閉 講 式(12:00～13:00)</b>		

・研修時間:午前10時～午後4時

・研修場所:農業大学校ほ場・ハウス

※研修カリキュラム・時間・場所は、変更となる場合があります。

## 令和8年度畜産コース カリキュラム

日付	内 容	講師
<b>開 講 式(10:00～10:30)</b>		
4/12(日)	・肉用牛の基礎知識・飼養管理	【講義・見学】 農技センター職員 畜産振興協会職員
4/26(日)	・病虫害防除の基礎(9:00～12:00)	【共通講義①】 農技センター職員
	・土づくりの基礎(13:00～16:00)	【共通講義②】 農技センター職員
5/10(日)	・肉用牛の基礎知識 ・飼料作物の基礎知識	【講義・実習】 農技センター職員
6/7(日)	・肉用牛の基礎知識・飼養管理	【講義・実習】 農技センター職員
8/23(日)	・牛の健康管理(栄養) ・乳用牛の管理	【講義・実習】 農技センター職員
9/27(日)	・牛の繁殖生理 ・山口型放牧	【講義・実習】 農技センター職員
10月下旬	・山口型放牧技術研修及び肉用牛の飼養管理の実際(現地見学)	【見学】 畜産振興協会職員
11月上旬	・種雄牛や肉用牛関連試験研究の紹介及び山口型放牧技術研修(畜産試験場見学)	【講義・見学】 畜産振興協会職員
11月下旬	・肉用牛の飼養管理の実際(現地見学)	【見学】 畜産振興協会職員
12月上旬	・子牛市場見学:希望者のみ	【見学】 畜産振興協会職員
12/6(日)	・農産物の流通・販売等(11:00～12:00)	【共通講義③】 JA山口県職員
	<b>閉 講 式(12:00～13:00)</b>	

・研修時間:午前10時～午後4時  
 ・研修場所:農業大学校畜産施設・畜産試験場及び畜産農家  
 ※研修カリキュラム・時間・場所は、変更となる場合があります。

## 令和8年度 担い手養成研修

### 1 目的

本格的に農業への従事を目指す社会人を対象として、年間を通じた農業に係る実践研修を実施し、円滑な就農・就業等を支援する。

### 2 研修内容

#### (1) 期間

令和8年度は、令和8年3月13日（金）から令和9年3月31日（水）まで

#### (2) 場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部  
防府市牟礼10318番地

#### (3) 内容

- ① 農林総合技術センターにおいて、栽培技術や飼養管理技術、農業経営の基礎知識を修得する実践研修を実施する。

コース	部門	専攻※	対象者	研修日
自営就農	園芸	野菜	自営就農を目指す方	月曜日から金曜日
		花き		
		果樹		
	土地利用 (米・麦・大豆等)			
畜産	肉用牛			
	酪農			
法人就業 ※※	法人就業 一般	就業する 法人に合 わせて品 目を選定	法人就業を目指す方	月曜日から金曜日のうち3日間以上
	ニーズ対 応型		企業の農業部門担当者や障害福祉サービス事業所の農業部門管理者等	

※ 受講者の希望や受入体制等を勘案し、専攻を決定する。

※※ 農業で生産・販売、農作業受託する法人（予定含む）

### 3 応募資格等：退職予定自衛官含む

特別な資格は必要ないが、研修終了後、新たに山口県内で農業経営を開始または農業法人等への就業を目指し、研修に専念できる社会人が対象とする。

### 4 定員

35名

## 5 研修費用

以下については実費負担

- ・施設使用料 年間48,000円
- ・傷害保険料 14,000円程度 ※個人で別途加入も可
- ・教科書代 6,000円～10,000円程度 ※選択科目による
- ・資格取得研修 1科目あたり7,000円～35,000円程度 ※選択科目による
- ・消耗品（作業服、帽子、長靴等）

## 6 担い手養成研修のメリット

1	講師陣が充実（専攻教官 + 試験場等職員）
2	各作目の体系的な研修が可能
3	充実の施設や機械を利用し実践的研修が可能 （一人一ハウス（一ほ場）） ・ガラス温室 20 棟、パイプハウス 48 棟 等 ・トラクター等
4	農業に必要な各種資格・免許が取得可能
5	就農・就業先の栽培品目に応じてプラスアルファの研修も可能
6	研修期間中の先進地や就業予定地への派遣研修が可能
7	県域での人的ネットワークが構築可能 （同期生、学生、教官、県下先進農家 等）
8	研修に専念できる環境を整備 ・移住就農促進センターを設置 （通称；新生館、1階休憩室、2階研修室） ・社会人宿泊施設完備 （利用料 31 万円/年（宿泊費、3食付込み、Wi-Fi 完備）
9	研修中は、要件を満たせば新規就農者育成総合対策（就農準備資金）等の活用が可能

# 担い手養成研修 自営就農コースの概要

## 【園芸部門】

### 1 研修のねらい

園芸部門では、野菜・花き・果樹の経営を開始するために必要な基礎知識や基本技術の修得を目指すとともに、市場出荷や直売などの販売実習を通じて、農産物流通の実情を把握し、販売技術の向上を図ることを目的とします。

また、地域活動への参加や農場運営、環境整備活動等を通じて、農業経営に不可欠な地域との連帯感の醸成や体力づくりを促進します。

### 2 研修場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部、関係機関及び現地等

### 3 講師

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部及び外部講師等

### 4 研修内容

- 様々な自然条件や病害虫被害などの環境変化への対応力を身に付けるため、自ら観察し、考え、情報収集・相談し、行動することを基本とします。
- 受講者と個別協議の上、可能な限り就農品目を想定し、品目を絞り込んだ実習を進めます。  
なお、当研修では、生産現場での修得が難しい基礎的な理論・知識や基本技術についても重点を置いており、未経験者であっても一通り栽培ができるよう取り組みます。
- 各専攻では、一人一ほ場（ハウス）の実習スペースを確保し、希望する品目に応じた研修を行います。栽培実習は、土づくり、育苗、栽培管理（植付、施肥、除草、整枝・誘引、防除、灌水等）、収穫、調製、出荷販売作業などを含みます。
- 受講者が一定の技術レベルに達したと判断された段階で（概ね秋季以降）、1ヶ月程度の先進農家研修を実施します。受け入れ先、内容、期間等については、将来の就農方向を考慮しつつ、個別調整を行います。

## <各専攻の概要>

### 【野菜】

受講者の経営の中心となる見込みの作物や作付け条件などを考慮して、研修前半は原則として3区分に大別して研修を進める予定です。

また、他の受講者の栽培支援や共通実習品目等の設定により、可能な限り多くの品目の栽培に関われるよう配慮します。

露地野菜	ナス、スイカ、カボチャ、キャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、レタス、ダイコン、タマネギ、ジャガイモ等
施設野菜	ホウレンソウ、コマツナ、ネギ、アスパラガス、葉わさび等 トマト、キュウリ、イチゴ等

## 【花 き】

県内で生産されている主要品目の露地・施設栽培の切花や花壇苗を中心にカリキュラムを構成します。さらに校内で栽培している多様な品目の栽培管理や出荷調製なども含めて研修を進めます。

重点研修品目等	小ギク、輪ギク、ユリ、カーネーション、草花、花壇苗等から選択 (草花の例：トルコギキョウ、新テッポウユリ、リンドウ、ラナンキュラス、葉ボタン、アスター、ストック等から選択実施) (花壇苗の例：ジニア、サルビア、マリーゴールド、パンジー、ビオラ等から選択実施)
---------	---

## 【果 樹】

果樹の主要品目であるナシ、ブドウ、かんきつ（ミカン類）の中から、受講者の希望等により重点研修品目を選定するとともに、希望や状況に応じて、その他の果樹も含めて研修を実施します。

重点研修品目	ナシ、ブドウ、かんきつ（ミカン）の中から選択実施
その他の品目	イチジク、カキ、クリ等の管理や育苗を組み合わせ実施

## 【畜産部門】

### 1 研修のねらい

畜産部門では、酪農や肉用牛経営を開始するために必要な基礎知識や技術の修得を目指します。

### 2 研修場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部、現地等

### 3 講師

農林業担い手支援部及び外部講師等

### 4 研修内容

#### (1) 共通事項

- 乳用牛あるいは肉用牛の飼養管理や繁殖管理などの研修を行います。
- 天候に応じて、飼料作物に関する研修や牛の栄養管理等の講義を行います。
- 牛の飼養管理や飼料作物に関する実習では、作業機械を使用します。
- 家畜市場や食肉市場など、流通に関する研修も行います。

#### (2) 各専攻の概要

##### 【酪 農】

朝夕の搾乳や乳用牛群検定を活用した牛群管理の研修を行います。

## 【肉用牛】

肉用牛の肥育や耕作放棄地等への放牧に加え、血統や育種価を活用した牛づくりに関する研修も行います。

### (3) 補足事項

毎日の研修は午前8時30分からの開始となりますが、朝の飼養管理は早朝から行いますので、研修時間を変更することがあります。

受講者の希望によって資格取得が可能なものがあります。

資格は、家畜人工授精師（牛）、家畜商、2級認定牛削蹄師で、取得経費は実費負担となります。

## 【土地利用部門】

### 1 研修のねらい

当コースは、主として大規模な土地利用型作物（米、麦、大豆、露地野菜など）の栽培に従事することを目指す方を対象としています。

さらに、全期間を通じて、不可欠な機械操作免許・資格の取得について、優先的に取り組んでいきます。

### 2 研修場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部、現地集落営農法人等

### 3 講師

農林業担い手支援部及び外部講師等

※ 内容によっては、農林総合技術センター農林業技術部の関係者も講師に含みます。

### 4 研修内容

#### (1) 対象作物

ア 米、麦、大豆等

イ その他（就業する法人の経営に合わせて品目を選定）

タマネギ、ジャガイモ、ニンジン、キャベツ、ブロッコリー等露地野菜

#### (2) 実施方法等

校内での研修と農業法人での現地研修等を適宜組み合わせ実施します。特に大規模栽培実習、大型機械の操作・メンテナンス実習、販売実習等については、現地の法人や外部講師等の協力を得て実施予定です。

また、法人経営の実態把握や実務についての知見を広めるため、防府市や山口市南部の農業生産法人と提携し研修を実施します。

## 担い手養成研修 法人就業コースの概要

### 1 研修のねらい

法人の生産活動に必要な作物の栽培技術、経営の基礎知識、販売のしくみなどを学ぶ実践的な研修です。受講者の就業見通しや法人等の要請に応じ、各専攻と連携して就業に必要な技術の習得を進めます。

### 2 研修場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部、現地集落営農法人等

### 3 講師

農林業担い手支援部及び外部講師等

※ 内容によっては、農林総合技術センター農林業技術部・畜産技術部等の関係者も講師に含みます。

### 4 内容

#### (1) 対象作物

就業する法人の経営に合わせて品目を選定

#### (2) 各部門の概要

##### 【法人就業一般部門】

将来的に農業法人等への就業が見込まれている方を対象とします。就業する法人の経営に合わせて品目を選定し、校内での研修と農業法人での現地研修等を適宜組み合わせ実施します。自営就農コース同様に平日フルタイム実習となります。

##### 【ニーズ対応型部門】

企業の農業部門担当者や障害福祉サービス事業所の農業部門管理者等を対象とします。企業に所属しつつ、平日のうち週3日以上研修参加して頂きます。

## 令和8年度 就農前集合研修

### 1 目的

農業に必要な基礎知識の習得や資質向上のため、新規就農を目指す担い手養成研修生（農林総合技術センター・現地）等に対して、定期的な集合研修を実施する。

### 2 研修カリキュラム

#### (1) 研修期間（予定）

令和8年4月28日（火）から令和9年1月14日（木）まで

#### (2) 研修場所（現地会場のみで開催となります）

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部（山口県立農業大学校）  
防府市牟礼10318番地、TEL（0835）38-0510、FAX（0835）23-0843

#### (3) 研修メニュー（研修日時・内容等は、変更となる可能性があります）

区分	実施日時	内容
第1回	4/28(火) 10:00～ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農準備資金等について（講師：農業振興課経営体育成班他）</li> <li>・営農計画の重要性及び営農計画作成ツール （講師：農林業技術部経営高度化研究室 尾崎専門研究員）</li> <li>・営農計画の全体概要及び資金調達・労働時間・構造分析の作成要領（講師：企画戦略部技術革新普及グループ 高橋主幹）</li> </ul>
第2回	5/13(水) 10:00～ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農計画（借入金償還・減価償却費）の作成要領について （講師：農林業技術部経営高度化研究室 尾崎専門研究員他）</li> <li>・農地の取得方法等について （講師：やまぐち農林振興公社 森田氏）</li> </ul>
第3回	5/14(木) 10:00～ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農計画作成ツールの使用方法及び計画作成上の留意点</li> <li>・営農計画作成演習 （講師：農林業技術部経営高度化研究室 尾崎専門研究員他）</li> </ul>
第4回	7/27(月) 10:00～ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営発表会に向けて：アグリハブの活用方法等 （講師：農林業技術部経営高度化研究室 尾崎専門研究員）</li> <li>・トラクタの構造・機能、耕耘方法等について （講師：学生支援課 土地利用グループ 森岡グループリーダー、 農業技術研究室 野菜研究グループ 茗荷谷主任主事）</li> </ul>
第5回	1/14(木) 9:00～ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営発表会 ～私の目指す農業経営について～ ※自身の営農計画の概要等について、受講生及び関係機関（就農予定市町・県農林（水産）事務所等）に対してプレゼンテーションを行い、それらの内容について意見交換を実施する。</li> </ul>

(注) 受講料は無料です。第1～4回は、演習用に各自エクセルソフト等を使用できるパソコンを持参するようにしてください。

### 3 主催者

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部  
山口県農業振興課経営体育成班

### 4 対象者及び受講申込について（対象者には退職予定自衛官含む）

- ① 山口県立農業大学校に在学している担い手養成研修生（義務受講）
- ② 新規就農者総合育成対策（国：就農準備資金）交付を受ける者（義務受講）
- ③ 新規農業就業者定着促進事業（県）のうち研修生支援を受ける者（義務受講）
- ④ 2年以内に就農・就業が確実で、就農予定市町が推薦する者
- ⑤ 作目基礎研修受講者のうち、就農前集合研修の受講を希望する者

### 5 各回の実施案内及び出欠確認について

- ・社会人研修室から各受講者に実施案内を行い、関係機関にも合わせて通知する。
- ・4の①以外の受講者は、社会人研修室に必ず出欠を報告し、欠席の場合は「別紙3：就農前集合研修欠席届」を社会人研修室に必ず提出する。



令和7年度第1回：営農計画の概要



令和7年度第5回：営農計画発表会

# 令和8年度 経営スキルアップ研修

## 1 目的

新規就業者の定着促進および経営マインドに優れた次世代を担う農業経営者の育成を目的として、経営感覚醸成に向けて必要な各種情報を提供する研修を行う。

## 2 研修期間

令和8年6月から令和9年1月まで（予定）

※各講座を選択して受講（各講座の開催日は、次頁「令和8年度経営スキルアップ研修講座一覧」を参照）

## 3 研修場所

山口県立農業大学校（農林総合技術センター農林業担い手支援部）  
〒747-0004 防府市牟礼 10318 番地、TEL（0835）38-0510

## 4 主催者

やまぐち就農支援塾

（山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部）

山口県農林水産部農業振興課経営体育成班

## 5 協力機関

ソリマチ株式会社、トヨタ自動車株式会社、山口県よろず支援拠点、  
山口県農業経営支援センター

## 6 対象者

（1）義務受講者（以下の制度の対象者）：3回以上受講

- ・経営開始資金
- ・農業次世代人材投資資金（経営開始型）
- ・法人就業者定着支援給付金
- ・経営発展支援事業

（2）その他

- ・経営発展に向けた意欲の高い農業経営者や法人の後継者
- ・前年度に就農前集合研修を3回以上受講され就農前の方

## 7 受講料

無料

## 8 令和8年度経営スキルアップ研修講座一覧

講座No.	開催日	講座名	内容	講師(予定)	協力機関	参加人数
1	6/4	農業労務管理 (社会保障編)	雇用に係る権利や義務など、知っておきたいポイントについて (オンライン可)	山口県農業経営支援センター 中小企業診断士・社会保険労務士 白松 秀隆 氏	山口県農業経営支援センター	50
2	7/1	農業労務管理 (税務編)	会社経営に係る税務など、知っておきたいポイントについて (オンライン可)	山口県農業経営支援センター 税理士・公認会計士 岡崎 謙司 氏	山口県農業経営支援センター	50
3	7/16	農業簿記研修 【実践編①】	ソリマチの農業簿記ソフトを活用した簿記記帳、電子帳簿保存について	ソリマチ株式会社	ソリマチ株式会社	30
4	8/7	農業簿記研修 【基礎知識編】	農業簿記の基礎・演習 (オンライン可)	山口県農林総合技術センター 主幹 高橋 一興 氏		50
5	8/27	会社の作り方	会社を立ち上げるために必要な知識や手続きについて (オンライン可)	山口県農業経営支援センター 税理士 住江 忠彦 氏	山口県農業経営支援センター	50
6	10/15	鳥獣害対策講座	・鳥獣被害の発生状況と傾向 ・対策のポイント	・農林水産政策課鳥獣被害対策班 ・山口県農林総合技術センター		50
7	11/25	トヨタ生産方式	・トヨタ生産方式の概要 ・作業要領書の作り方 (演習)	トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車株式会社	40
8	12/17	事業にぴったりのSNSを見つけよう	効率よく始める広報戦略(SNSの選び方等)について (オンライン可)	山口県よろず支援拠点 俵 沙弥佳 氏	山口県よろず支援拠点	50
9	12/17	農業簿記研修 【実践編②】	ソリマチの農業簿記ソフトを活用した決算処理	ソリマチ株式会社	ソリマチ株式会社	30
10	1/21	「働きやすさ」をつくる就業環境改善	みんなが働きやすい職場づくりを実現する経営の見直しと、経営発展のための意思決定手法について(公開講座)	ファームサイド株式会社 代表 佐川 友彦 氏		50

## 課題解決研修

### 令和8年度 パイプハウス建設実践技術研修

#### 1 目的

園芸作物生産等の現場では、パイプハウスの骨材など栽培施設整備費が高騰しており、自家施工等による経費節減を図ることが重要となっている。

このため、新規就農者や資質向上を希望する農業者等を対象に、パイプハウスの建設に必要な知識・技術を修得するための研修を行う。

#### 2 日時

(1) 開催日：令和9年2月2日（火）～5日（金）、計4日間

(2) 時間：午前9時30分から午後4時まで

※進捗状況や天候等の影響で、実施内容の変更・中止または研修期間を延長する場合があります。

#### 3 場所

〒747-0004 防府市牟礼 10318 番地

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部 農業新生館等

#### 4 研修内容

日程	研修内容等
2月2日 (火)	<ul style="list-style-type: none"><li>・開講式</li><li>・建設の流れ等（講義）</li><li>・建設準備（マーク記入、その他）</li><li>・アーチの挿込み、連結</li></ul>
2月3日 (水)	<ul style="list-style-type: none"><li>・梁（肩、棟、中間）の設置</li><li>・沈下防止パイプの設置</li><li>・フィルム留め材（レール）の取り付け</li></ul>
2月4日 (木)	<ul style="list-style-type: none"><li>・妻柱の設置</li><li>・ドアの取り付け</li><li>・フィルム張り（裾→サイド→妻面）</li><li>・巻き上げ装置の設置</li><li>・らせん杭の埋設と直管の取り付け</li></ul>
2月5日 (金)	<ul style="list-style-type: none"><li>・フィルム張り（天井）</li><li>・ハウスバンドの取り付け</li><li>・ハウスの解体</li><li>・保守管理、強度向上のポイント（講義）</li><li>・総合質疑及び閉講式等</li></ul>

#### 5 研修対象者及び定員：退職予定自衛官含む

新規就農者や資質向上を希望する農業者等

作目基礎研修イチゴ・アスパラガス専門コースで選択メニューを希望した方

10名程度 ※申し込み人数が少ない場合、中止とする場合あり

#### 6 受講料

受講料無料、施設使用料800円（200円/日×4日間）が必要

傷害保険に加入されていない方は、傷害保険料（1,000円程度）が別途必要

## 課題解決研修

### 令和8年度 女性のための農業機械操作・メンテナンス研修

#### 1 目的

主な農業機械の基本的な構造やメンテナンス、安全な操作方法等に関する研修を行い、女性農業者の技術の向上及び農作業安全の一層の推進を図る。

#### 2 日時

令和9年2月25日(木)、26日(金) 午前10時から午後3時頃まで

#### 3 場所

山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部（防府市牟礼10318番地）  
連携・交流館セミナールーム等

#### 4 研修内容

月日	内容
2月25日 (木)	<b>【開講式・オリエンテーション】</b> <b>【講義】</b> ・農作業事故の現状と農作業安全について ・主な農業機械の構造と安全な取扱いについて <b>【実技講習】</b> ・基本的な点検・整備と安全な操作方法について (トラクタなど)
2月26日 (金)	<b>【実技講習】</b> ・基本的な点検・整備と安全な操作方法について <b>【閉講式】</b>

※全て基本的な内容、雨天の場合などは内容を変更

#### 5 研修対象者及び定員

農業機械の取扱初心者（女性限定）5名程度

#### 6 受講料

受講料無料、施設使用料として200円/日/人が必要  
会場までの旅費や傷害保険は参加者各自で対応のこと

# 令和8年度 資格取得研修

## 1 目的

農業経営に必要な免許や資格の取得を通して農業機械等の操作技能の向上を図るため、社会人研修生等を対象に資格取得研修を実施する。

## 2 研修期間

令和8年6月から令和9年3月まで

## 3 研修場所

- ・ 山口県立農業大学校（農林総合技術センター農林業担い手支援部）  
防府市牟礼10318番地
- ・ その他現地研修場所

## 4 研修科目等

免許取得につながる大特・けん引（農耕車限定）の安全教育や、労働安全衛生法に基づく技能講習、特別教育、安全衛生教育など9科目を実施する。

### （1）道路交通法関連

- ①大型特殊自動車免許（農耕車限定）、②けん引免許（農耕車限定）

### （2）労働安全衛生法関連

- 技能講習：③玉掛け、④小型移動式クレーン運転、  
⑤フォークリフト運転
- 特別教育：⑥小型車両系建設機械、⑦アーク溶接、  
⑧伐木作業（チェーンソー）取扱
- 安全衛生教育：⑨刈払機取扱作業者

### （3）講師等

- ・ 上記2（1）は農大職員による安全指導、山口県警による出張試験
- ・ 2（2）は、資格を有する民間講師をそれぞれ招へい

## 5 対象者等

社会人研修生、農大学生、農業従事者

（新規就農希望者含む）

（※研修科目ごとに農業大学校ホームページで周知）

## 6 研修内容

研修科目	研修内容	実施時期(計画)	回数	日受講	定員
大型特殊自動車免許(農耕車限定)取得研修(5日コース)	高度な運転技能を有する農業者の育成を図り、農業生産性の向上と農作業の安全を確保するため、大型特殊免許(農耕用限定)の取得研修を行う。	①令和8年6/5～6/11、②6/19～6/25、③11/6～11/12、④11/27～12/3、⑤12/11～12/17、(予備:令和9年1/14～1/21)	5	5	100
大型特殊自動車免許(農耕車)取得研修(農大トラクタ持込交通C試験:3日コース)	高度な運転技能を有する農業者の育成を図り、農業生産性の向上と農作業の安全を確保するため、大型特殊免許(農耕用限定)の取得研修を行う。	①令和8年7/28～7/30、②8/4～8/6、③9/29～10/1、④10/6～10/8、⑤10/20～10/22、⑥11/17～11/19、⑦11/24～11/26、⑧12/8～12/10、⑨12/22～12/24、⑩令和9年1/5～1/7	10	3	40
けん引免許(農耕車限定)取得研修	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、けん引免許(農耕用限定)の取得研修を行う。	①令和8年7/2～7/9、(予備:令和9年1/14～1/21) ②令和9年2/10～2/18	2	6	24
玉掛け技能講習	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、玉掛け作業(吊り上げ荷重1トン以上のクレーン)の技術を有するオペレーターを養成する。	①令和9年3月1～4日(5日)	1	3	10
小型移動式クレーン運転技能講習	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、移動式クレーン(吊り上げ荷重1トン以上5トン未満)の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①令和9年3月16～18日(19日)	1	3	10
フォークリフト運転技能講習(大特免許取得者対象)	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、フォークリフト(最大荷重1トン以上)の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①令和8年7月14～16日 ②令和9年2月24～26日	2	2	20
フォークリフト運転技能講習(普通自動車免許取得者対象)	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、フォークリフト(最大荷重1トン以上)の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①令和8年8月25日～28日	1	4	10
小型車両系建設機械運転特別教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、バックホウなどの車両系建設機械(機体重量3トン未満)の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①令和8年6月30～7月1日 ②令和8年11月11、12日	2	2	30
アーク溶接特別教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、アーク溶接の技術を有するオペレーターを養成する。	①令和8年12月21～23日	1	3	15
伐木作業(チェーンソー)取扱特別教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、伐木作業の技術を有するオペレーターを養成する。	①令和8年8月3～5日(6日)	1	3	15
刈払機取扱作業安全衛生教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、刈払機の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①令和8年7月10日 ②令和9年1月27日	2	1	30

## V 令和7年度やまぐち就農支援塾研修実績総括表

研修項目		実施回数 A	1回日数 B	受講者数 C	延べ日数 D (A×B)	延べ人数 日数 (C×D)
短期入門研修	第1回 (R7年5/27～5/29)	1	3	4	3	12
	第2回 (R7年7/8～7/10)	1	3	6	3	18
	第3回 (R7年9/30～10/2)	1	3	13	3	39
	第4回 (R7年12/2～12/4)	1	3	8	3	24
	合計	4	12	31	12	93
作目基礎研修	施設野菜 (R7年4/13～12/7)	11	1	13	11	143
	露地野菜 (R7年4/13～12/7)	12	1	16	12	192
	果樹 (R7年4/13～12/7)	11	1	16	11	176
	水稻 (R7年4/13～12/7)	10	1	12	10	120
	花き (R7年4/13～12/7)	11	1	7	11	77
	畜産 (R7年4/13～12/7)	12	1	2	12	24
	農業機械 (R7年4/13～12/7)	10	1	5	10	50
	合計	77	7	71	77	782
担い手養成研修	自営就農 (R7年3/15～R8年3/31)	250	1	4	250	1,000
	法人就業 (R7年3/15～R8年3/31)			2		500
	合計	250	1	6	250	1,500
就農前集合研修 実人数 15人	第1回 (R7年4/24)開講式、就農・就業の心得、就農計画作成	1	1	15	1	15
	第2回 (R7年5/14)営農計画作成、農地取得方法	1	1	13	1	13
	第3回 (R7年5/15)営農計画作成・演習	1	1	14	1	14
	第4回 (R7年7/25)トラクタの構造・機能、耕耘方法	1	1	12	1	12
	第5回 (R8年1/14)農業経営発表会	1	1	13	1	13
	合計	5	5	67	5	67
経営スキルアップ研修	第1回 (R7年6/5)農業労務管理	1	1	47	1	47
	第2回 (R7年7/3)鳥獣害対策講座	1	1	89	1	89
	第3回 (R7年8/6)農業簿記研修	1	1	26	1	26
	第4回 (R7年8/28)農業簿記(ソリマチ)1	1	1	19	1	19
	第5回 (R7年9/4)流通の基礎知識	1	1	24	1	24

研修項目		実施回数 A	1回日数 B	受講者数 C	延べ日数D (A×B)	延べ人数日数 (C×D)
経営スキルアップ 研修  実人数 193人	第6回 (R7年9/18) プロモーション・販促	1	1	22	1	22
	第7回 (R7年9/26) 会社の作り方	1	1	37	1	37
	第8回 (R7年10/9) 農業労務管理	1	1	57	1	57
	第9回 (R7年11/13) 写真の撮り方講座	1	1	78	1	78
	第10回 (R7年11/19) トヨタ生産方式	1	1	35	1	35
	第11回 (R7年11/28) 雇用就農者講座1	1	1	35	1	35
	第12回 (R7年12/18) 農業簿記(ソリマチ)2	1	1	15	1	15
	第13回 (R8年1/15) 効率よく始める広報戦略	1	1	57	1	57
	第14回 (R8年1/27) 働きやすさ・経営改善	1	1	38	1	38
	第15回 (R8年2/4) 雇用就農者講座2	1	1	28	1	28
	<b>合計</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>607</b>	<b>15</b>	<b>607</b>
課題解決研修  実人数 15人	パイプハウス建設実践技術研修 (R8年2/3～2/6)	1	4	11	4	44
	女性のための農業機械操作・メンテナンス研修 (R8年2/25～2/26)	1	2	4	2	8
	<b>合計</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>15</b>	<b>6</b>	<b>52</b>
資格取得研修	大特免許(農耕者限定)従来出張 一般1	1	5	16	5	80
	大特免許(農耕者限定)従来出張 一般2	1	5	15	5	75
	大特免許(農耕者限定)従来出張 一般3	1	5	15	5	75
	大特免許(農耕者限定)従来出張 一般4	1	5	16	5	80
	大特免許(農耕者限定)従来出張 一般5	1	5	16	5	80
	大特免許(農耕者限定)従来出張 一般6	1	5	14	5	70
	大特免許(農耕者限定)従来出張 合計	6	30	92	30	460
	大型特殊自動車免許(農耕者限定)持込	1	3	34	3	102
	けん引免許(農耕者限定)一般1	1	6	8	6	48
	けん引免許(農耕者限定)一般2	1	6	6	6	36
	けん引免許(農耕者限定)研修生	1	6	5	6	30
	けん引免許(農耕者限定)合計	3	18	19	18	114
	フォークリフト講習(大特免許所有者)一般1	1	2	6	2	12
	フォークリフト講習(大特免許所有者)一般2	1	2	10	2	20
フォークリフト講習(大特免許所有者)研修生	1	2	4	2	8	

研修項目		実施回数 A	1回日数 B	受講者数 C	延べ日数 D (A×B)	延べ人数 日数 (C×D)
資格取得研修  実人数 216人	フォークリフト講習(大特免許所有者)合計	3	6	20	6	40
	フォークリフト運転技能講習(普通車免許所有者)	1	4	8	4	32
	玉掛け技能講習	1	3	13	3	39
	小型移動式クレーン運転技能講習	1	3	12	3	36
	小型車両系建設機械運転特別教育一般1	1	2	17	2	34
	小型車両系建設機械運転特別教育一般2	1	2	14	2	28
	小型車両系建設機械運転特別教育研修生	1	2	5	2	10
	小型車両系建設機械運転特別教育合計	3	6	36	6	72
	アーク溶接特別教育	1	3	5	3	15
	伐木作業特別教育(チェーンソー)	1	3	5	3	15
	刈払機取扱作業安全衛生教育一般1	1	1	19	1	19
	刈払機取扱作業安全衛生教育一般2	1	1	23	1	23
	刈払機取扱作業安全衛生教育研修生	1	1	4	1	4
	刈払機取扱作業安全衛生教育合計	3	3	46	3	46
	高所作業車運転特別教育	1	2	2	2	4
	テールゲートリフター特別教育	1	1	0	1	0
	狩猟免許	1	2	2	2	4
	合計	27	87	294	87	979
	原木椎茸生産者育成セミナー  実人数 41人	第1回(R7年7/30)原木椎茸栽培のいろは	1	1	19	1
第2回(R7年9/10)スキルアップアドバイス		1	1	17	1	17
第3回(R7年11/10)調理実演・試食		1	1	26	1	26
第4回(R7年11/27)ほだ場見学ツアー		1	1	18	1	18
第5回(R8年1/20)チェーンソー安全使用方法		1	1	24	1	24
合計		5	5	104	5	104
全研修  実人数 528人	総合計	385	138	1,195	457	4,184
	総合計(担い手養成研修除く)	135	137	1,189	207	2,684